

99分枝 branching 18

ブランチング 19 発刊 2016 年 12 月 9 日
ブランチング 20 発刊 2017 年 3 月 9 日
ブランチング 21 発刊 2017 年 6 月 9 日
編集・発行 せ 入魂生 systembranching.jp

＜展覧会のコンセプト＞

本展のタイトルにおいて、本展で意味するところの「触感」が、「Touch with Skin (皮膚で触る)」という外的な「触感」体験のみを指しているわけではないこと、**「内在する」という言葉で補って説明している。皮膚感覚による体験は「自我」（自分とは何か）の形成という内容的アプローチのきかかけとしはばばなりうるが、その科学的な理解しえない感覚全体を「触感」ととらえている。本展は、制作のプロセスそのものとしての「触感」を用い、触感に作品へと落とし込む作家をご紹介します。**

＜展覧会作品について＞

田淵三菜 (たぶち・みな)

這うようにして隠れた森のはざま。カメラのファインダーをおしてなぞられた被写体の触感には、自然への好奇心と畏怖で全身をぞくぞくさせた撮影者のエネルギーを凝視力や肉厚に切り取られていく。展示作品を生物として機能させる細胞のような一枚一枚のイメージは、森のミクロとマクロを相違させる。色の凹凸を目で触れながら、そして次元を自由に往復できる恍惚をおぼえながら、やがて次元を往復し続けなければならない虚無さに鑑賞者は気づく。

小嶋剛明 (こじま・まさあき)

眼前の上から胸へと変化を及ぼした結果としての昆虫の姿。昆虫採集における生態学的な手順が感じられる。この生命の形を固定させるうえで必要に経る「触く」という過程を、作り手は火に似たたぬることなく客体化する。実在と観念が同一であるという混沌論を保持しつつも、昆虫たちは絶対性と無意識性の合間をいまだまぎらう。土から胸へと化学変化するはざまの膜（皮膚）そのものが、ときとして実体を持たず、揺らめく空となりうる語り合わせる。その線を静かに縫っていく眼差しがある。

耳のないマウス

カタマリのように形を結びつけた指先への注視は、体から切り離された結果としての割裂な触感の体験を鑑賞者に否認なく想起させる（わずかにうごめいているところも含めて）。そして動かない身体と再び結合させることで、いったんかなり捨てたはずの手の意味を仕方なく繰り返すが、意味はうごめきと変容を繰り返しながら実在と架空のはざまを行き交う。

西澤伊智朗 (にしざわ・いちろう)

大きな種子のような形に施された土のまじりまじり。原初的でありながら、大地に根ざすわけでもなく、宙に浮かむわけでもないその存在の存在感は、極力土に離れずして土の保持をひきだしていくという独自の成形の原因による。しかし、「触らない」という手の克己は、その意識下において手を經由せずと雖も、身体がダイナミックな力学的作用を顕わはしない。柔道家でもある作り手は、相手の重心を利用したり自分の体を捨てたりして相手の投げを武器の技を、土と身体の間合いに無闇に用いているように見受けられる。

田辺明 (のきた・よしあき)

くぐもった光のなかにも日々自分を取り巻くものが喚び喚びされる。それらは主観性を持つことなく立見られる。古くも新しくもなく、幸せでも不幸でもなく、銃火をつけた指で画面をなぞって質感を出していくという描写方法は、自身の生活の確認作業であるとともに、自身をそのなかに存在させていくために必要な手段として、必要不可欠な行為である。指が動かした手は、それ自体では意識をもちず、指先の触れをとることでこそ機能するシグナルとして、鑑賞者のほうへと伝わる。

今井あみ

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

Touch with Skin 内在する触感

山ノ内町立志賀高原ロマン美術館

2016年夏季企画展「Touch with Skin 内在する触感」館内展示説明文より

出演作家

小嶋剛明、田淵三菜、正田義明、西澤伊智朗、
耳のないマウス (松田俊行、石野和明、石倉一誠、雨宮淳)

＜展覧会のコンセプト＞

本展のタイトルにおいて、本展で意味するところの「触感」が、「Touch with Skin (皮膚で触る)」という外的な「触感」体験のみを指しているわけではないこと、**「内在する」という言葉で補って説明している。皮膚感覚による体験は「自我」（自分とは何か）の形成という内容的アプローチのきかかけとしはばばなりうるが、その科学的な理解しえない感覚全体を「触感」ととらえている。本展は、制作のプロセスそのものとしての「触感」を用い、触感に作品へと落とし込む作家をご紹介します。**

＜展覧会作品について＞

田淵三菜 (たぶち・みな)

這うようにして隠れた森のはざま。カメラのファインダーをおしてなぞられた被写体の触感には、自然への好奇心と畏怖で全身をぞくぞくさせた撮影者のエネルギーを凝視力や肉厚に切り取られていく。展示作品を生物として機能させる細胞のような一枚一枚のイメージは、森のミクロとマクロを相違させる。色の凹凸を目で触れながら、そして次元を自由に往復できる恍惚をおぼえながら、やがて次元を往復し続けなければならない虚無さに鑑賞者は気づく。

小嶋剛明 (こじま・まさあき)

眼前の上から胸へと変化を及ぼした結果としての昆虫の姿。昆虫採集における生態学的な手順が感じられる。この生命の形を固定させるうえで必要に経る「触く」という過程を、作り手は火に似たたぬることなく客体化する。実在と観念が同一であるという混沌論を保持しつつも、昆虫たちは絶対性と無意識性の合間をいまだまぎらう。土から胸へと化学変化するはざまの膜（皮膚）そのものが、ときとして実体を持たず、揺らめく空となりうる語り合わせる。その線を静かに縫っていく眼差しがある。

耳のないマウス

カタマリのように形を結びつけた指先への注視は、体から切り離された結果としての割裂な触感の体験を鑑賞者に否認なく想起させる（わずかにうごめいているところも含めて）。そして動かない身体と再び結合させることで、いったんかなり捨てたはずの手の意味を仕方なく繰り返すが、意味はうごめきと変容を繰り返しながら実在と架空のはざまを行き交う。

西澤伊智朗 (にしざわ・いちろう)

大きな種子のような形に施された土のまじりまじり。原初的でありながら、大地に根ざすわけでもなく、宙に浮かむわけでもないその存在の存在感は、極力土に離れずして土の保持をひきだしていくという独自の成形の原因による。しかし、「触らない」という手の克己は、その意識下において手を經由せずと雖も、身体がダイナミックな力学的作用を顕わはしない。柔道家でもある作り手は、相手の重心を利用したり自分の体を捨てたりして相手の投げを武器の技を、土と身体の間合いに無闇に用いているように見受けられる。

田辺明 (のきた・よしあき)

くぐもった光のなかにも日々自分を取り巻くものが喚び喚びされる。それらは主観性を持つことなく立見られる。古くも新しくもなく、幸せでも不幸でもなく、銃火をつけた指で画面をなぞって質感を出していくという描写方法は、自身の生活の確認作業であるとともに、自身をそのなかに存在させていくために必要な手段として、必要不可欠な行為である。指が動かした手は、それ自体では意識をもちず、指先の触れをとることでこそ機能するシグナルとして、鑑賞者のほうへと伝わる。

今井あみ

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai



Yukino SUZUKI 1981 - 鈴木幸野

最近、自分は「人に認められるため・好かれるため」だけに全てを生きているのだと気づいてしまった。

それをやめようと思ったものの、「じゃあ今後はなんのために生きるのか?」を考え、数日経っている。

自分には嫌われるどころか少くともイラっと怒られると、自分に「生きている価値がない」と思ってしまう極端体質だ。

道で人にぶち当たったり、レジのバイトで客に怒られたこと、全てをばばば何喰い出し、職場で怒鳴られた時は病気がなった。

「嫌われることなんて気にせず、自分のために生きればいいじゃない!」でも、そう思うと今度は、自分の中から人への思いやりとか人間関係が一切なくなってしまうようで怖い。

なぜなら、自分のこれまでの行いは全て「好かれるため」にやってきたから。本当の自分の中には、「人間の思いやり」なんて一片も無いかもしれないから。

「好かれるため」の目的をなくしたら、なんのために生きるのか? 「人に嫌われても気にしない」という人は、なんのために生きているのですか?

人に生ゴミを見るような視線を向けられても、「自分は生きている!」と思えるプライドを持って生きているのですか?

普通の生き方が知りたい。でも、そういう普通のところこそ一生掴み取ることができない気がする。

木村夏衣 Natsumi Kimura

1984年5月生まれ
広島県出身
広島県立広島高等学校卒業
koronoo15@gmail.com

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

1990年5月生まれ
長野県出身
東京芸術大学卒業
http://amimiai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

川島雄樹 Tomoro Kawai

1976年大阪府出身 京都
東京藝術大学大学院修了
http://tomorokawai.com/

展示会場
FFS Lounge Gallery 2016年10月
TOPICS Highland 2019年10月

今井あみ Ami Imai

普通の人の生きる意味

山ノ内町立志賀高原ロマン美術館

2016年夏季企画展「Touch with Skin 内在する触感」館内展示説明文より

出演作家

小嶋剛明、田淵三菜、正田義明、西澤伊智朗、
耳のないマウス (松田俊行、石野和明、石倉一誠、雨宮淳)

＜展覧会のコンセプト＞

本展のタイトルにおいて、本展で意味するところの「触感」が、「Touch with Skin (皮膚で触る)」という外的な「触感」体験のみを指しているわけではないこと、**「内在する」という言葉で補って説明している。皮膚感覚による体験は「自我」（自分とは何か）の形成という内容的アプローチのきかかけとしはばばなりうるが、その科学的な理解しえない感覚全体を「触感」ととらえている。本展は、制作のプロセスそのものとしての「触感」を用い、触感に作品へと落とし込む作家をご紹介します。**

「嫌われることなんて気にせず、自分のために生きればいいじゃない!」でも、そう思うと今度は、自分の中から人への思いやりとか人間関係が一切なくなってしまうようで怖い。

なぜなら、自分のこれまでの行いは全て「好かれるため」にやってきたから。本当の自分の中には、「人間の思いやり」なんて一片も無いかもしれないから。

「好かれるため」の目的をなくしたら、なんのために生きるのか? 「人に嫌われても気にしない」という人は、なんのために生きているのですか?

人に生ゴミを見るような視線を向けられても、「自分は生きている!」と思えるプライドを持って生きているのですか?

普通の生き方が知りたい。でも、そういう普通のところこそ一生掴み取ることができない気がする。

木村夏衣 Natsumi Kimura

1984年5月生まれ
広島県出身
広島県立広島高等学校卒業
koronoo15@gmail.com

展示会場
FFS Lounge Gallery 201